

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|----------------|----------------|----------|-------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 28-89 | 高等学校 | 国 語 | 現代文 A | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 2 東書 | 現 A 306 | 現代文 A | | |

1.編修の基本方針

①近代以降の様々な文章を読み取り、我が国の言語文化に対する理解を深める。

- ・近代以降の文章の中から、「小説・詩歌」と「随想・評論」を中心として取り上げ、的確に理解するためのポイントを「学習の手引き」に示しました。
- ・「言語活動編」に設けた「外国文化の影響を調べて発表する」などの学習を通じて、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できるようにしました。

②主体的に文章を読むことを通じて、生涯にわたって読書に親しむ態度を育てる。

- ・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて主体的に考察できるよう、各教材末に「表現と言語活動」などの項目を用意しました。
- ・教科書に示した小説の作者の別の作品を「読書案内」で紹介し、読書に親しむ態度が育つような配慮をしました。

③国語の向上を図る態度や言語文化の質を高め、社会生活の充実を図る態度を養う。

- ・各教材末に「漢字と語彙」の項目を用意し、漢字の読み書き能力を高めるとともに、語彙力をつけることができるようにしました。
- ・「言語活動編」に「外国文化の影響を調べて発表する」「読み比べて考える」を用意し、調べて発表したり比べ読みをしたりする学習を通じて、社会生活の充実を図れるようにしました。

2.対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|----------|---|-----------|
| 小説・詩歌編 | ・植物を大切にした祖母と、その祖母から「みどりのゆび」(植物を育てる才能)を受け継いだ「私」を描いた小説を用意しました。(第4号) | →6~20ページ |
| | ・少年野球団のキャプテンの当時と大人になった今を浮かび上がらせ、人を信じることの意味について問いかける小説を用意しました。(第3号) | →35~51ページ |
| | ・閉鎖的で絶望的な状況における悲しみや孤独感を寓意的に描き、他者との関わりによって、その孤独な魂が僅かに慰められる小説を用意しました。(第3号) | →52~65ページ |
| | ・理由も分からないまま突然虎となった男の物語を通して、人間の不条理さや過剰な自意識に苦しむ人間の悲劇、妻子や友人を失い獣の姿になってまで芸術に執着する者の宿命的な苦悩などについて考えさせる小説を用意しました。(第1号) | →66~81ページ |

| | | |
|--------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・馬車に乗り合わせた人々と、その人々に起こる出来事を、「蠅」の視点から描き、偶然の事故により運命を狂わされる人間のむなしさを浮き彫りにする小説を用意しました。(第1号) ・自らの恋を成就させるために親友を裏切り自殺に追い込むことになってしまった「私」の揺れ動く心情を描き、人間のエゴイズムについて考えさせる小説を用意しました。(第1号) ・P121「I was born」、P125「永訣の朝」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌・俳句を用意しました。(第1号) | <p>→82～94ページ</p> <p>→95～120ページ</p> <p>→121～136ページ</p> |
| 随想・評論編 | <ul style="list-style-type: none"> ・桜に対する日本人とヨーロッパの人の感性の違いを通じて、日本人にとって桜が格別な存在であることを述べる随想を用意しました(第5号) ・広島で被爆死した少女たちが着ていた衣服を通じて、平和について考える随想を用意しました。(第5号) ・精魂込めた仕事の成果を否定された経験から、やりたいことと求められることの合致の難しさを感じる筆者が、仕事の奥深さについて考える随想を用意しました。(第2号) ・生物が多様であることの重要性を説き、その保全のためには、量から質へ、豊かさの捉え方を変えるべきであると述べる評論を用意しました。(第4号) ・外国語の学習や、日本語と英語における色の認識の違いなどを例に、言葉の意味を知っているということはどういうことか、について考察した評論を用意しました。(第5号) ・個人生活や社会生活において、すぐには答えが出ない困難な問題に直面した時、分からないまま正確に対処することができるよう、思考に体力をつけることが必要であると説く評論を用意しました。(第3号) | <p>→138～144ページ</p> <p>→150～160ページ</p> <p>→169～174ページ</p> <p>→175～182ページ</p> <p>→183～189ページ</p> <p>→190～196ページ</p> |
| 言語活動編 | <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな情操を培うため、詩を朗読する教材を用意しました。(第1号) ・翻訳語を調べることで、日本の言語文化が外国文化から受けた影響について理解を深める教材を用意しました。(第5号) ・生物多様性問題を例に、複数の図から情報を読み取って論じる教材を用意しました。(第4号) ・一つのテーマについて、複数の異なる観点から見た他者と意見を交流し、自分の考えを深める教材を用意しました。(第1号) ・同じテーマで、さまざまな立場から書かれた本を読み比べ、話し合いを通じて考えを深めていく教材を用意しました。(第3号) | <p>→198～201ページ</p> <p>→202～205ページ</p> <p>→206～209ページ</p> <p>→210～213ページ</p> <p>→214～218ページ</p> |

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、「読書案内」を設け本を紹介し、更に附録「図書館の利用法」で「日本十進分類法」などにも触れながら、本を探す方法を示しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、附録「著作権と引用」「文章構成の型」「マップ法」を設けました。また、「言語活動編」において、複数の図表から情報を読み取り論じる学習や、課題を設定して話し合い理解を深める学習などを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|----------|------|-----|
| 28-89 | 高等学校 | 国語 | 現代文A | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 2 東書 | 現A 306 | 現代文A | | |

1.編修上特に意を用いた点や特色

①**目標**…近代以降の様々な文章を読み、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てるという「目標」に示された能力を養うため、学習が効果的・有機的に行えるように配慮しました。

②内容

(1)

ア：文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、考察する助けとなるよう、「学習の手引き」を教材末に示しました。また、人間、社会、自然などに関する諸問題について論じた文章を掲載しました。

イ：文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりする助けとなるよう、「学習の手引き」を教材末に示しました。

ウ：掲載教材として、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について書かれた文章を取り上げました。

エ：近代以降の言語文化について課題を探求し、理解を深めることを学習する教材を、「言語活動編」に設けました。

(2)

ア～ウ：言語活動の具体的な方法などを示した教材を、「言語活動編」として5教材設けました。更に、教材末には「表現と言語活動」を設け、掲載教材とも適宜関連して指導できるように配慮しました。

③内容の取扱い

- ・読書の習慣をつけさせるため、教材として取り上げた小説の作者の別の作品を「読書案内」で紹介しました。
- ・中心として取り上げる教材として「小説・詩歌」「随想・評論」を用意しました。
- ・多種多様な文章を取り上げるという観点で、小説においては近代と現代の作品から、随想・評論においては「言語」「労働」「環境」など幅広いテーマからそれぞれ教材を選びました。
- ・必要に応じて用いることのできる文章として、文語文(竹・小景異情)を取り上げました。

2.対照表

| 単元 | 教材名 | (1)指導事項との対応 | | | | (2)言語活動例との対応 | | | 頁 |
|--------|------------------|-------------|---|---|---|--------------|---|-----|-----|
| | | ア | イ | ウ | エ | ア | イ | ウ | |
| 小説・詩歌 | みどりのゆび | ○ | ○ | | | ○ | | | 6 |
| | 真面目な二人 | ○ | | | | ○ | | | 21 |
| | ナイン | ○ | | | | ○ | | | 35 |
| | 山椒魚 | ○ | ○ | | | ○ | | | 52 |
| | 山月記 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | 66 |
| | 蠅 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | 82 |
| | こころ | ○ | ○ | | | ○ | | | 95 |
| | I was born | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | 121 |
| | 永訣の朝 | ○ | ○ | | | ○ | | | 125 |
| | 信濃路【短歌】 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | 130 |
| 春雷【俳句】 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | 134 | |
| 随想・評論編 | さくらさくらさくら | ○ | ○ | ○ | | | | | 138 |
| | 「身銭」を切るコミュニケーション | ○ | | ○ | | | | | 145 |
| | 少女たちの「ひろしま」 | ○ | | | | | | | 150 |
| | ミロのヴィーナス | ○ | ○ | ○ | | | | | 161 |
| | 分からないからおもしろい | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 169 |
| | 豊かさと生物多様性 | ○ | | | ○ | | ○ | | 175 |
| | 言葉は世界を切り分ける | ○ | | ○ | | | | | 183 |
| | 思考の肺活量 | ○ | | | | | | | 190 |
| 言語活動編 | 朗読して味わう | | ○ | | | ○ | | | 198 |
| | 外国文化の影響を調べて発表する | | | ○ | ○ | | ○ | | 202 |
| | 図表から情報を読み取って論じる | | | | ○ | | ○ | | 206 |
| | 複数の観点を生かして理解を深める | | ○ | | ○ | | ○ | | 210 |
| | 読み比べて考える | | | | ○ | | | ○ | 214 |